

2020年6月10日(水)第2水曜祈祷会

ルカの福音書6:20~26

「苦しみをもたらす幸い」

序:

人は誰もが、苦しみのない人生、幸いな人生を歩みたいと願う。でも、果たしてどうすればいいのか。

■山上の説教(マタイ5:1~)と平地の説教(ルカ6:17~)

- ①山上の説教…キリストの宣教開始直後、弟子たちと群衆に向かって
- ②平地の説教…十二使徒を選んだ直後、弟子たちを見つめながら(6:20)

■今か、永遠か(6:20~21)

- ・幸いな者…「(今)貧しい者」「物乞い」、「今飢えている者」「今泣いている者」
- ・「今」に満たされている者は、決して「今」の向こうにある「永遠の世界」を見ようとしな
- ・しかし「今」に貧しく、今に飢え、今に泣いている人は、今よりも確かなものに目を向ける。
- ・その人は、神の国を見出し、真の満足を見出し、心から笑える永遠の喜びを見出す。

■地上の報いか、天の報いか(6:22~23)

- ・この世の価値基準…「今」「人」「この地上」
ピリピ3:19「その人たちの最後は滅びです。…地上のことだけを考える者たちです。」
- ・神(聖書)の価値基準…「永遠」「神」「天(神の国)」
Ⅱコリント4:18「見えるものは一時的であり、見えないものはいつまでも続くからです。」
- ・クリスチャンが目指す生き方
「今」ではなく「永遠」に、「人」ではなく「神」を、「世の報い」ではなく「天の報い」を

■「やがて来る日」に目を向ける(6:24~26)

- ・衰れなる者…「(今)富んでいる者」、「今満腹している者」「今笑っている者」
- ・「今」に何の矛盾も持たない、今がすべてと考える者は、「やがて来る日」に気づかない
- ・聖書は、「やがて終わりの日(神の審判の日)が来る」ことを告げている
ヘブル9:27、「人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっている」
Ⅱコリント5:10、「私たちはみな、…キリストのさばきの座の前に現れなければならない」
- ・すべての悪しき企てが露わにされると同時に、すべての隠れた愛の奉仕も明らかにされる日

◎まとめ:「苦しみをもたらす幸い」について

- ・幸いな者は…衰れなる者は…、この世の報いか…天の報いか…、人からの評価か…神の御旨か
- ・詩篇119:71、「苦しみにあったことは、私にとって幸せでした。」苦しみが幸いをもたらす理由。